

2026 年 9 月 30 日

お取引先の皆様へ

旭化成建材株式会社
代表取締役社長
前田 栄作

A L C 事業における「特別調整金」導入のお願い

お取引先の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、当社 A L C 事業における「特別調整金」の導入につきまして、その背景と当社の考え方を
ご説明申し上げ、皆様のご理解とご協力を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。

1. 私たちが守り続ける責任

当社は、皆様との長年にわたる信頼関係を何よりも大切にし、必要な A L C 製品を、必要な時に、安定した品質でお届けすることを使命として、事業を運営してまいりました。安全・品質・安定供給を将来にわたり守り続けることが、メーカーとして果たすべき重要な責務であると考えております。

2. 事業を取り巻く環境とこれまでの努力

- 建築着工床面積は、1990 年をピークとして縮小傾向が続いております。
- 原燃料、原材料、物流などの外部コストは、長期にわたり大幅な上昇が続いております。
- 当社におきましても、工場体制の見直し、合理化、生産性向上、経費削減などに取り組み、価格への影響を可能な限り抑えるよう努めてまいりました。

しかしながら、中東情勢を踏まえた足元におけるコスト上昇は、当社の企業努力のみで吸収し続けることが極めて困難な水準に至っております。この状況が継続した場合、将来にわたる安定供給と品質の維持に必要な事業基盤を守ることが難しくなるものと判断いたしました。

3. 「特別調整金」導入の概要

適用開始	2026 年 11 月 1 日出荷分から
制度名称	特別調整金
対象となる変動	当社のみでは制御できないエネルギー価格等の上昇
基本的な考え方	外部コストの変動を透明かつ公平なルールに基づき価格へ反映

本制度は、単に一律の価格改定をお願いするものではなく、当社のみでは制御することが困難な原燃料価格の変動について、あらかじめ定めた考え方に基づき価格へ反映させていただく仕組みです。制度の趣旨、対象および算定方法につきましては、担当者より個別に、誠意をもって丁寧にご説明申し上げます。

4. お取引先の皆様へのお約束

- 透明性：算定の考え方と根拠につきまして、分かりやすくご説明申し上げます。
- 公平性：一貫したルールに基づき、適切に運用してまいります。
- 抑制努力：合理化と改善を継続し、皆様のご負担を可能な限り抑えるよう努めてまいります。
- 安定供給：安全と品質を最優先に、安定供給に向けた責務を誠実に果たしてまいります。

5. お願い

今回のお願いは、当社といたしましても慎重に検討を重ねたうえでの、誠に心苦しい決断でございます。お取引先の皆様に新たなご負担とお手数をおかけいたしますことに関し、深くお詫び申し上げます。その一方で、A L C製品を将来にわたり安定してお届けし、皆様の事業に貢献し続けるためには、持続可能な供給基盤を守ることが不可欠であると考えております。誠に恐縮ではございますが、諸般の事情をご賢察いただき、本制度の趣旨につきましてご理解を賜るとともに、ご協力を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

当社は今後も、皆様からお寄せいただくお声を真摯に受け止め、より良い製品とサービスのご提供を通じて、皆様からの信頼にお応えできるよう全力を尽くしてまいります。引き続き変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。